

平成 30 年度大規模災害時の支援協力連絡会（熊毛ブロック）議事録

場所 : 屋久島事務所 別館 2 階 第 1 会議室
期日 : 平成 30 年 5 月 30 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30
参加者 : 熊毛支庁 神宮司建設部長 一ノ宮建設課長
渡辺建設係長 稲道路維持係長
堀之内河川砂防係長 福永港湾空港係長
山田建築係長
(事務局) 片平技術補佐 内村技師
屋久島事務所 今和泉建設課長 四村技術補佐
有馬道路係長 眞邊河川港湾第二係長
測量設計業協会 篠原副会長 萩原理事
連絡責任者 (正) 鹿児島土木設計(株) 国師・鎌田
連絡責任者 (副) (株)萩原技研 西門
地質調査業協会 宇都理事長 今村理事 田淵理事 川邊理事
川崎監事 (欠席) 杉元組織委員長 城ヶ崎班長
貴島副班長

会議資料

熊毛支庁より

- 1、資料 1 平成 30 年度の連絡体制 (熊毛支庁建設部)
- 2、資料 2 熊毛支庁管内の公共土木施設概況 (種子島地区)
- 3、資料 3 熊毛支庁管内の公共土木施設概況 (屋久島地区)
- 4、参考資料 協定書写し・実施要領・各文書様式

測量設計業協会より

- 1、資料 1 平成 30 年度の連絡体制 (鹿児島県測量設計業協会)
- 2、資料 2 災害支援協力のフロー図
- 3、資料 3 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定 (経緯)
- 4、資料 4 大規模災害時における被害状況調査の支援協力

地質調査業協会より

- 1、資料 1 大規模災害時における地質調査等の支援協力に関する協定経緯等
- 2、資料 2 大規模災害時における地質調査等の支援協力要請提出物様式
- 3、資料 3 大規模災害時における地質調査業協会の緊急連絡先・支援本部連絡体系図

議事録

1. 開会挨拶

神宮司建設部長挨拶・篠原副会長挨拶・宇都理事長挨拶

2. 平成 30 年度の連絡体制について

○資料 1(熊毛支庁)、資料 1(測量協会)、資料 3(地質協会)に基づき連絡体制の説明

3. 熊毛支庁管内における公共土木施設概況について

○資料 2、資料 3(熊毛支庁)に基づき施設概況の説明

4. 支援協力について

測量設計業協会(篠原副会長)より、別紙資料に基づき平成 30 年度の災害協定について説明

○資料 2・3・4(測量設計業協会)に基づきフロー図、協定経緯、実施要領、留意事項の説明

地質調査業協会(宇都理事長)より、別紙資料に基づき平成 30 年度の災害協定について説明

○資料 1・2(地質調査業協会)に基づき協定経緯、支援実績、留意事項の説明

5. 質疑応答

【支庁より】

- ・災害支援要請の連絡先はどこにしたらいいのですか？

【測量協会より】

- ・資料 1 の右上に記載の連絡先(鹿児島県測量設計業協会)へ一報をお願いします。

【支庁より】

- ・調査後、職員が災害場所に行くのに特定できず、二度手間になることがあるためグーグルマップ等を利用してはどうか。(8. 6 水害時は、住宅地図を利用した)

【測量協会より】

- ・スマートフォンや携帯用 GPS 機器を利用して情報の共有化を図るよう協会としても検討していきたい。

【支庁より】

- ・被災箇所をドローンで撮影した場合、その写真を提供してもらえるのか？
又、協力会社のドローンの所有は何社くらいですか。

【測量協会より】

- ・提供は可能です。大なり小なりほぼ所有しています。

【測量協会より】

- ・連絡体制が機能しているかチェックのためにシミュレーションを実施してみたらいかがですか？

【支庁より】

- ・検討します。

【支庁より】

- ・災害場所がわからない状態であっても要請してよいか？

【地質協会より】

- ・今まで経験はありませんが、要請があればそのような対応をします。ただし、陸

路が塞がれており、現地に行くため船等を利用する場合があります。チャーター料等発生した場合には、別途負担をお願いしたい。

【支庁より】

- ・被災箇所の情報の収集と提供を積極的にお願したい。
- ・連携を図りながら協力していきたい。

【支庁より】

- ・本日の大規模災害時の支援協力連絡会の協議は、何回目ですか。

【測量協会より】

- ・始良伊佐・大隅地域振興局に次、3回目の協議です。

状 況 写 真



